

令和8年度 昭島市立清泉中学校
技術 年間指導計画・評価規準〔第3学年〕

学期	月	時数	単元名と内容	単元のねらい	観点別評価規準(主たるもの)		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
1 学期	4	1	計測・制御の基本的な仕組み	コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知る。	計測・制御システムにおける構成、プログラミングによる情報の処理についての知識を身に付けている。 情報処理の手順について理解し、正しく理解することができる。	コンピュータを利用した計測・制御を特徴に応じて適切に行うことができる。	すすんで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
	5	2	計測・制御の基本的な仕組み	コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知る。	計測・制御システムにおける構成、プログラミングによる情報の処理についての知識を身に付けている。 情報処理の手順について理解し、正しく理解することができる。	コンピュータを利用した計測・制御を特徴に応じて適切に行うことができる。	すすんで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
	6	2	計測・制御の基本的な仕組み	コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知る。	計測・制御システムにおける構成、プログラミングによる情報の処理についての知識を身に付けている。 情報処理の手順について理解し、正しく理解することができる。	コンピュータを利用した計測・制御を特徴に応じて適切に行うことができる。	すすんで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
	7	2	計測・制御の基本的な仕組み	コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知る。	計測・制御システムにおける構成、プログラミングによる情報の処理についての知識を身に付けている。 情報処理の手順について理解し、正しく理解することができる。	コンピュータを利用した計測・制御を特徴に応じて適切に行うことができる。	すすんで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
2 学期	9	1	計測・制御による問題解決	情報の技術の学習を振り返り、家庭や学校生活における計測・制御に関わる身近な不便さから問題を見だし、課題を設定する。	計測・制御の仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。	問題解決とその過程を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考慮することができる。	自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。
	10	2	計測・制御による問題解決	情報の技術の学習を振り返り、家庭や学校生活における計測・制御に関わる身近な不便さから問題を見だし、課題を設定する。	計測・制御の仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。	問題解決とその過程を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考慮することができる。	自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。
	11	2	計測・制御による問題解決	情報の技術の学習を振り返り、家庭や学校生活における計測・制御に関わる身近な不便さから問題を見だし、課題を設定する。	計測・制御の仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。	問題解決とその過程を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考慮することができる。	自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。
	12	2	計測・制御による問題解決	情報の技術の学習を振り返り、家庭や学校生活における計測・制御に関わる身近な不便さから問題を見だし、課題を設定する。	計測・制御の仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。	問題解決とその過程を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考慮することができる。	自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。
3 学期	1	1	社会の発展と情報の技術	情報の技術の評価し適切な選択と管理・運用のあり方や、新たな発想に基づく改良と応用について考える。	生活や社会に果たす役割や影響について情報の技術の概念を説明できる。	よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術の評価し、未来に向けた新たな改良、応用について提言できる。	よりよい生活や社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。
	2	2	社会の発展と情報の技術	情報の技術の評価し適切な選択と管理・運用のあり方や、新たな発想に基づく改良と応用について考える。	生活や社会に果たす役割や影響について情報の技術の概念を説明できる。	よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術の評価し、未来に向けた新たな改良、応用について提言できる。	よりよい生活や社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。
	3	1	3年間の技術分野の学習を振り返る	技術の工夫・創造とわたしたちの未来について考え、技術と主体的にかかわる必要性について考える。		技術にかかわる問題を解決するには、よい面と悪い面の両面を意識し、最適な解決策を考慮することができる。	持続可能な社会を構築するために、主体的に技術にかかわる態度や技術を工夫し創造する態度を身に付けようとしている。
合計	18			評価方法	・定期考査 ・ワークシート、レポート ・製作品 作業観察記録	・定期考査 ・ワークシート、レポート ・製作品 作業観察記録	・振り返りシート ・ワークシート